

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
 発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
 TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
 発行人 山崎 哲  
 編集長 仲井 真裕  
 印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう  
 願いに生きる人となる



日本橋(中央区)

## 西徳寺の予定

### 2月

- |        |       |             |           |
|--------|-------|-------------|-----------|
| 1日(水)  | 午後7時半 | 燈虹塾セミナー     |           |
| 5日(日)  | 午後2時半 | 城東ブロック会間法会  | 場所:西徳寺    |
| 11日(土) | 午後5時半 | 同行会『観衆偈』に聞く | 法話:大橋 伊知郎 |
| 12日(日) | 午後2時半 | 城南ブロック会間法会  | 場所:西徳寺    |
| 15日(水) | 午後1時半 | 婦人会間法会      |           |
| 18日(土) | 午後2時  | 定例間法会       |           |
| 22日(水) | 午後3時半 | 総代会・顧問会     |           |



### 3月

- |               |         |                        |  |
|---------------|---------|------------------------|--|
| 2日(木)         | 午後2時    | 評議員会役員会                |  |
| 5日(日)         | 午後2時半   | 城北ブロック会間法会             |  |
| 7日(火)         | 午前10時   | 仏具磨き                   |  |
| 8日(水)         | 午後7時半   | 燈虹塾セミナー                |  |
| 11日(土)        | 午後1時    | 帰命法会(第三回)              |  |
| 15日(水)        | 午後1時半   | 婦人会間法会                 |  |
| 18日(土)~24日(金) |         | 春季彼岸会                  |  |
| 22日(水)        |         | 春季永代経法要、聖徳太子奉讃会、本山差向布教 |  |
| 25日(土)        | 午後5時15分 | 同行会修習式                 |  |

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。  
 詳しくは寺務所までお問合せください。

## 顧問の一言

### 阿弥陀如来と釈迦如来

なぜ浄土真宗の寺院では、阿弥陀如来を安置して釈迦如来を安置しないのでしょうか。いのちの源泉である阿弥陀の本願をお説きになったのがお釈迦様です。

私たちは釈迦如来を通して阿弥陀の本願を聞くに尽きるので、したがって、ご本尊は阿弥陀如来、お釈迦様は諸仏の代表であります。



## 2月の山門の言葉



### 善悪の分別心ほど 怖いものはない

大正・昭和・平成、そして令和の新元号になり、今年で五年目を迎えたが、改めて時間の経つ早さに驚く。

そのような時間の流れの中で、私たちはそれぞれが時代・環境の違うところに生を受け今日に至る。「良い時代に生まれた」という人もいれば、「こんな時代に生まれたくなかった」という人もいるだろう。しかしながら、自身を取り巻く環境は違えども「頂きたいのち」という点に於いては全ての人に共通し、そのいのちには良いも悪いもないのが事実である。

ごくごく当たり前の事ではあるが、私たちは現在の年齢に至るまで、多くの知識や経験を重ね、それらを頼りに生きてきた。その根っ子には無意識なうちに善し悪しという分別心をもって、時代や物事、そして人をも自分の価値観で切り捨ててきたのではないだろうか。

そのように分別していく在り方は、誰しもが当たり前だと思っただけに、厄介だと思わされる。知らず知らずに他者を傷つけ、また自身をも傷つけているとは到底思えない。

それは「頂きたいのち」すら、善し悪しで分別していくような在り方であり、仏様の眼を通してみれば、人間の痛ましい相として照らし出される。その痛みを抱えながらも歩んでこれたのは、はからずも善し悪しの分別を超えた、多くのご縁によるものだと感じている。

(大橋 伊知郎 記)

## ランドマーク 日本橋(中央区)

旧日本橋区である日本橋地区は、江戸時代から武家屋敷が立ち並ぶ山手に対して、町人文化の中心地下町を代表する街でした。

日本橋川に架かる日本橋は、江戸時代1603年(慶長8年)に徳川家康によって木造の初代が架けられ、翌年には幕府直轄の5つの道路の起点として定められました。その後は火事で焼け落ちるなどして、日本橋は何度も架け替えられました。現在の橋は20代目に当たるとされ、1911年(明治44年)に石造の橋が架けられました。

橋の中央にシンボルとして設置されている青銅製の麒麟像。麒麟は中国神話に現れる伝説上の動物で、形は鹿に似て、顔は龍に似て、牛の尾と馬の蹄を持ち、角が生えています。明治時代に日本橋を架けた際、東京市の繁栄を願ってこの霊獣が飾られました。そんな日本橋の麒麟像には翼が生えているという特徴があります。日本橋は日本中の道路の起点であり、「日本橋から飛び立つ」という意味を込めて翼が付けられたと言われています。

現在、日本橋の上を通る首都高速の高架を、地下に移す工事が行われており、高架の全面撤去は2040年の予定となっています。



# うばだいしゃ ～共悩共歩～

## テーマ「時代」

優婆提舍(うばだいしゃ)論議の意。  
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。  
(例:浄土論=無量寿経優婆提舍願生偈)

今回は雲集学舎(※)の事務局長をされている山下哲二様にお話を伺いました。

山下様は熊本県出身であり、在家であります。が仏法の縁に触れ、聴聞をされるようになり、今日に至ります。

### ◆聞法のキツカケ

高校時代、既に卒業していた先輩が、真宗寺という大谷派(お東)のお寺に住まわっていて、その方に会いに行ったのがキツカケでした。そこには若者が多く集っていて、その方々と一緒に『歎異抄』などの勉強会をするようになりました。

### ◆就職〜組合運動

高校卒業して就職し、ここでは組合運動に携わりました。労働者を中心とした国作りというようなテーマを持っていました。ところが、実際は生活改良や向上を目指す条件闘争が中心で、当初の志とのズレを感じるようになりました。職場内もギクシャクしていて、行き詰まりや矛盾を抱えていました。

### ◆社会運動

高校時代の文化祭では「自衛隊と憲法第九条」などを取り上げたこともあり、社会運動に関心がありました。現在66歳ですが、当時は安保闘争が落ち着き、社会運動というものが下火になりつつある時代だったと思います。反面、「個人」を大切にす風潮が出始めた頃だったと感じます。

### ◆聞法

行き詰まりや矛盾を感じるなか、「果たして自分が抱えている問題って何?」と考えるようになりました。色々するのだけど、実は分からない。分からないことも分からなかった。聞法を通して始めてそのことに気が付かされました。

真宗寺の住職が若い人に聞いて欲しいと、宗正元師(※)を招かれ、その後、宗師が東京転居を機に、20代で自らも上京し今日に至ります。人間が何に迷い、何を求めているのかという問題に、広がりや深まりを聞法に見出しています。

### ◆この時代

組合運動を通して、実はみんな世界観が違うことに気が付かされました。特に今は個人を大切にす時代なんです。その個人個人がどう生きるのか、もがいている時代だと思えます。自由を求めて進歩発展しているはずなのに息苦しい。これも人間の抱える矛盾なのかもしれません。そういう「矛盾の世の中を生きて行く」と、道を拓いてくれたのが真宗寺の住職でした。

(聞き手 山崎 哲)

### ※雲集学舎

浅草西光寺に於いて宗正元師を中心に、教行信証に学ぶ聞法会。現在は西徳寺に場を移し、月3回の聞法会を開催

### ※宗正元師

真宗大谷派の僧侶。令和2年5月20日往生



山下哲二師と聞き手

## 評議員会新年会

1月15日(日)西徳寺本堂にて、評議員会新年会を開催しました。竹内会長、山崎住職、大谷最高顧問、川村責任役員総代より新年のご挨拶を頂戴し、聞法会や帰命法会、今後の西徳寺の在り方についても述べられました。

新年会後には伊豆榮不忍亭に場所を移し、約2年振りとなる懇親会を行いました。久しぶりの宴席という事もあり、皆様ゆっくりとお楽しみいただけたようで嬉しく思っております。

ご出席賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。今後も評議員会の皆様のお力添えをよろしく願いいたします。

(評議員会担当 大橋 伊知郎)



竹内評議員会会長



来賓・川村責任役員総代

## 燈虹塾セミナー報告

江戸の伝統文化を学ぶ当塾では「歌舞伎、声曲、絵画、浮世絵、出版、俳諧、狂歌、等々、江戸文化の中心に吉原を据えると、その繋がりが分かりやすい」と説明しています。江戸中期の終わりから後期の始めにかけてそれを体現した人物こそが、姫路藩の次男坊に生まれた、「ミスター吉原」<sup>さかいほういつ</sup>酒井抱一(1761-1829)です。今回は日比谷孟<sup>ひびやたけとし</sup>塾頭より、酒井抱一とはどのような人物だったのか、お話を伺いました。

酒井抱一は絵師・俳人などの枠に収まらない、実に多くの作品を残されました。さらに西本願寺の僧侶として出家し、ご自身の住まいを『大無量寿経』の「天雨妙華」からとった「雨華庵」と名付けられたと教えていただきました。天雨妙華とは仏様のはたらきを華や雨にたとえられたお言葉です。その文言をお住まいに名付けられるセンスに、抱一の魅力を感じました。

(事務局 高橋)



## 仏具磨きのご案内

春のお彼岸を迎えるにあたり、**3月7日(火) 午前10時～** 仏具磨きをいたします。

一緒に仏具を磨いてくださる有志の方を募り、きれいなお荘厳でお彼岸と、3月22日(水)の春季永代経法要をお迎えしたいと思います。

※昼食はこちらでご用意いたします。

動きやすい格好でご来寺ください。(お寺で着替えることもできます)

ご協力いただけます方は西徳寺寺務所(03-3575-3351)までご連絡ください。

(蓮井 邦宗 記)



## 焚き火「年忘れの会」

12月26日、台東区立千束幼稚園の「年忘れの会」が境内で催されました。

園児さんは「焚き火って暖かいね」と喜び、順番に薪をくべる微笑ましい姿が見られました。

近隣の就園前のお子さん達も参加されて、ダンスや焼き芋を楽しんだ賑やかな会となりました。

今年の年末もお手伝いさせて頂ければうれしいです。

(坊守 山崎 晴美 記)





## 坊さんのツブヤッター



@ジュンエン

バンド仲間が結婚する!ということで、久しぶりにバンドメンバーが集まることになりました。集まるのはコロナ以来約3年ぶり。これを機にバンド活動も復活できますように!

#画像は昔のリハーサル風景 #楽器ももうしばらく触っていません #練習しないと



## えこお志お礼

大阪府 光明寺 様

滋賀県 木村 浩子 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



日本橋に滋賀県のアンテナショップがありました!

## 内愚外賢

～賢者の信を聞いて、  
愚禿が心を顕す～

先日、家族でファミリーレストラン(ファミレス)に行った時のことです。タッチパネルで注文を済ませ、料理を待っていると、何とロボットが配膳に現れました。お会計も電子マネーの場合は人が要らないようになっていきます。

コロナ禍においては人と接触しないという利点があるように思いますが、誰とも会話せずに食事を取ることができる…、何とも不思議な気分になりました。

文明の進歩・発展は、人が楽に生活を過ごせる為にあります。人が要らなくなる、または人と接する機会がなくなっていくのも如何なものなのでしょうか。日々スマートフォンを多用しながら、人間らしさを考えさせられます。

(編集長 仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)  
🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。